

Zale Seck Japan Tour 2017

11/17(Fri) 浜松町カラバッシュ

19:30 ~ Charge 予約¥2.500 当日¥2.800
東京都港区浜松町 2-10-1 浜松町ビル B1 03-3433-0884

18(Sat) 横浜 DoBeDoBar

19:30 ~ Charge ¥2.500
※この日のドラムは佐山智英です
横浜市神奈川区松本町 1-2-3 第2カヤギヤビル 5F 045-620-5539

19(Sun) 高崎 Sangam

14:00 ~ 16:00 ワークショップ ¥3.000 (w/1drink)
17:00 ~ 20:00 ライブ Charge ¥2.500
ワークショップ&ライブ両方参加で¥5.000(w/1drink)
※この日のパーカッションは大澤和樹です
群馬県高崎市中居町 2-6-25 027-386-4846

20(Mon) 森下 Obsounds

19:30 ~ Charge ¥2.500
※この日のドラムは佐山智英です
東京都江東区森下 2-12-8 03-6884-2065

Zale Seck (Vo,G,Perc)

22(Wed) 横浜 C'est la vie

19:30 ~ Charge 予約¥2.500 当日¥3.000
横浜市中区長者町 9-170 横浜翠葉ビル 045-654-7309

23(Thu) 藤沢 Free Culture

18:00 ~ Charge ¥2.500 (w/1drink)
神奈川県藤沢市藤沢 556 辰巳ビル 1F 0466-26-4880

ワークショップのお知らせ

11月19日 14時より高崎 Sangam にて
セネガルリズムワークショップを行います。

お申込みは Sangam
027-386-4846 まで

お問い合わせ つちむら音楽工房
☎ 045-832-1078
E-mail ongakukobo_t@yahoo.co.jp



木村秀子 (key)

土村和史 (B)



あらかり大輔 (perc)



つの犬 (ds)

Zale Seck (vocal, percussions, guitar, compose, dance)

ザール・セック:セネガルのシンガーソングライター。西アフリカの伝統パーカッションとダンスのパフォーマーでもある。



1961年グリオの家に生まれ、幼い頃からサバル、ジェンベ、タマなどの伝統打楽器の手ほどきを受け、祭りや儀式での演奏を行ってきた。やがて歌にも非凡な才能を見せるようになり、ギターを弾いて歌うスタイルを習得する。こうして曲を書き、自身でアレンジしてギターやパーカッションを演奏しながら歌うスタイルが若い時期に確立する。

80年代には当時のセネガルを代表するバンド、L' Etoile 2000 de Dakar や Orchestra Baobab のフロントマンとして活躍、音楽大国セネガルでトップミュージシャンの仲間入りをする。90年代にはソロで独立、優れた歌唱力、カリスマ性から国内のシーンで重要な存在となっていく。

92年に最初のリーダーアルバム「Mandu」を発表、そして「Yaatu」。
94年「Yow kan」、96年「Dolel Mbeuguel」「Rirou Mbeuguel」と立て続けにアルバムをリリースする。セネガルのポピュラー音楽の根幹をなす Mbalax (ンバラ) というスタイルに根差しつつ個性を発揮する彼のスタイルは国内のみならずヨーロッパでも認められて海外公演も数多く行うようになった。



2001年にザールはカナダのケベック州に居を移し、北米大陸を活動拠点に据えた第二のキャリアをスタートさせる。移住後最初に発表した Africa Bolo (2003年) はセネガル人とカナダ人音楽家たちと作り上げた力作で好評を博す。

2007年同じくカナダに移住してきた息子でギタリストの Assane Seck をフィーチャーした「Beuguenta」、2009年「Moi, je suis d' Afrique」をリリース。これまでにカナダや米国で多くのフェスティバルに出演してきた。

現在のザール・セックのグループはアフリカとケベック出身者からなる混成バンドであるため、歌詞は出身部族のウォロフ語に加えてフランス語の比重が多くなってきた。これまで自身が経験・体得してきたセネガルの音楽を後世に広く伝えるという意味で、彼にとってこのプロジェクトは重要なものである。

今回のツアーは日本に行くことに憧れ続けたザールが25年来の友人でベーシストの土村和史と連絡を取り続けた結果実現したものであり、セネガル音楽にまた新しい息を吹き込むためのザール・セックの冒険が始まる。

